

クリスマス・イヴ礼拝

降誕劇

2022年12月24日(土)18時



日本キリスト教団

浦河教会
元浦河教会

クリスマス・ページェント こうたんげき (降誕劇)

イエスさまのおたんじょうだいほん台本

2022年12月24日(土) 18時

浦河教会

だい1ばめん みつかい し 《第1場面. み使いの知らせ》

(会場・照明なし)

きゆうやくせいしよ — 旧約聖書 —

よげんしゃ やみ なか あゆ たみ おお ひかり み し かげ ち
預言者1 闇の中を歩んでいた民は大いなる光を見た。死の陰の地
す もの うえ ひかり かがや
に住んでいた者たちの上に光が輝いた。

— オルガンにあわせて点灯 —

よげんしゃ かぶ ひとつ め も い ね わかえだ
預言者2 エッセイの株から一つの芽が萌え出で、その根から若枝が
そだ うえ しゅ れい かれ よわもの
育ち、その上に主の霊がとどまる。・・・彼は、弱い者た
ちを正義によって裁き、地の苦しむ者たちのために公平な
せいぎ さば ち くる もの こうへい
はんけつ くだ
判決を下す。

しょう し
招 詞 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はイ
ンマヌエルと呼ばれる。」これは、「神は私たちと共にお
られる」という意味である。
い み

しんやくせいしよ — 新約聖書 —

いま せんねんまえ くに まち
ナレーター 今から2千年前、ユダヤの国のナザレという町に
い なまえ むすめ
マリアと言う名前の娘がいました。

(オルガン演奏 ^{えんそう} マリア ^{にゅうじょう} 入場、中央 ^{ちゅうおう} のイスにすわり ^あ 編み物 ^{もの} をする)

ナレーター マリアの ^{ところ} 所に、^{みつかい} み使いが ^{あらわ} 現れて ^い 言いました。

^{てんしとうじょう}
(天使登場)

天使 ^{てんし} 「おめでとう、^{めぐ} 恵まれた ^{かた} 方。主 ^{しゅ} があなたと ^{とも} 共におらる。
マリア、^{おそ} 恐れることは ^{ない}。あなたは ^{かみ} 神から ^{めぐ} 恵みを ^{いただ} いた。

あなたは ^み 身ごもって ^{おとこ} 男の子 ^う を産む。その ^こ 子を ^{イエス} と ^{なづ} 名付けなさい。その ^こ 子は ^い 偉大な ^{ひと} 人になり、いと ^{たか} 高き ^{かた} 方の子 ^こ と呼ば ^よ れる。」

マリア 「どうして、そのような ^{こと} があり ^え ませしょうか。わたしは ^{おとこ} 男 ^{ひと} の ^し 人を ^し り ^ま せん ^の に。」

天使 ^{てんし} 「^{せいれい} 聖霊 ^{くだ} があなたに ^{たか} 降り、いと ^{かた} 高き ^{ちから} 方 ^{おお} の ^{ちから} 力が ^{おお} あなたを ^{おお} 覆う。
だから、^う 生まれる ^こ 子は ^{せい} 聖なる ^{もの} 者、^{かみ} 神 ^こ の ^よ 子 ^よ と呼ばれる」

マリア 「わたしは ^{しゅ} 主 ^{つか} の ^め 仕え ^{ことば} 女 ^み です。お ^{ことば} 言葉 ^み どおり、この ^み 身 ^み になり ^ま す ^{よう} に。」

ぜん 員

^{さんびか} 讚美歌 ^{こころ} 175 わが ^{こころ} 心 ^は は

1. わが ^{こころ} 心 ^{かみ} は ^{とうと} あまつ ^{かみ} 神 ^{とうと} を ^{とうと} 尊 ^み み、

わが ^{たま} たましい ^{すく} すくいぬ ^し しを ^{ほめ} ほめ ^{まつり} まつり ^て て ^{よろこぶ} よろこぶ

2. ^{かず} 数 ^た に ^た 足 ^ら らぬ ^{わが} わが ^み 身 ^な ね ^れ ど ^み 見 ^す 捨 ^て て ^す す

^{いま} 今 ^よ より ^の の ^ち ち ^{よろ} よろ ^ず ず ^代 代 ^{まで} まで ^{めぐ} め ^ぐ ぐ ^み み ^た た ^{もう} もう ^{うれ} うれ ^{しさ} しさ。

=== 静かになる

ナレーター その頃、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。ヨセフもダビデの家系であり、またその血筋であったので、ガリラヤの町ナザレからユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上った。
身重になっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがそこにいるうちに、マリアは月が満ちて、初子の男子を産み、産着にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊る所がなかったからである。

だい2ばめん ひつじか のじゆく ばめん
《第2場面. 羊飼い・野宿の場面》

ナレーター さて、その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。

(オルガン演奏 羊飼いたちが羊の群れを連れて入場)

ひつじか 羊飼い1 「静かだなあ。」

ひつじか 羊飼い2 「星がきれいだ。今夜は特別寒いなあ」

ひつじか 羊飼い3 「羊はみなよく眠っている。毛皮を着ているからな。」

ナレーター すると、主の天使が現れ、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。

てん し 天使1 「恐れるな。私は、すべての民に与えられる大きな喜び

を告げる。」

天使2 「今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」

天使3 「あなたがたは、産着にくるまって飼い葉桶に寝ている乳飲み子を見つける。これがあなたがたへのしるしである。」

ナレーター すると、突然、天の大軍が現れ、この天使と共に神を賛美して言った。

天使たち 「いと高き所には栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

ぜん員

讚美歌268 あら野のはてに
1. あら野の果てに 夕日は落ちて
たえなるしらべ 天よりひびく
グロリア インエクセルシステオ
グロリア インエクセルシステオ
2. ひつじをまもる 野べのまきびと
あめなるうたを よろこびききぬ
——くりかえし——

ナレーター 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは言った。

羊飼いたち 「さあ、ベツレヘムに行って、主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか。」

(オルガン演奏)

だい ばめん ほし みちび はかせ
《第3場面. 星に導かれる三人の博士たち》

はかせ とびら そと うた あ ある にゅうじょう
(博士たち、扉の外から歌に合わせユックリ歩いて入場)

ぜん いん
全 員

とおく ひがし
月 遠くの東から
とおく ひがし たび はかせ
遠くの東から ラクダにまたがって 旅する博士
ち そら かがや
ようやくユダヤの地 み空に輝いた 星の光の
ふ し ぎ みちびき し
不思議な導きで うれしい知らせ
もつやく にゅうこう こがね たからもの
没薬、乳香と黄金の宝物
しゅ いわい
主イエスにささげ 祝いのしるしです

はか せ
博 士1 大きな星に導かれて とうとう、ユダヤの国まで
やって来ましたね。(P オルガンの星を指しながら)

博 士2 あの明るい星こそ 世界の救い主が
お生まれになったしるしです。

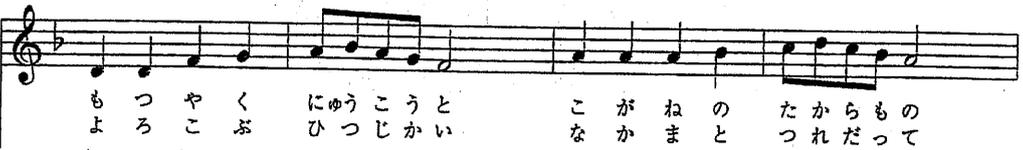
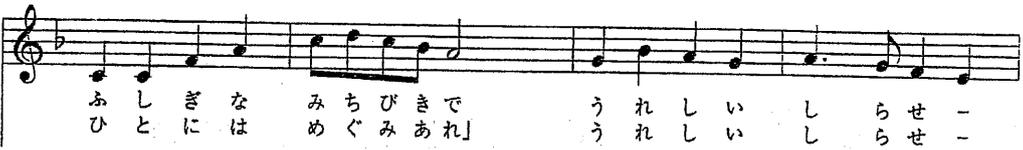
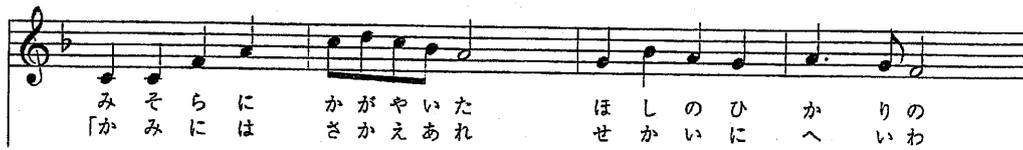
博 士3 さあ、星の光に ついて行きましょう。

博 士1 わたしは、「黄金」をささげます。(上に掲げながら)

博 士2 わたしは、「乳香」をささげます。(上に掲げながら)

博 士3 わたしは、「没薬」をささげます。(上に掲げながら)

えんそう はかせみぎがわ たいじょう
(オルガン演奏・博士右側に退場)、

とお ^{ひがし}
遠くの東から

だ いばめん すくいぬし うまごや
《第4場面. 救い主は、馬小屋に

(ヨセフとマリア、^{かいば}飼葉おけのイエス^{にゆうじょう}入場)

ちゆうおう ^{かいば} 中央に飼葉おけのイエス、^{うしろ} 後ろにヨセフとマリアス^{ちやくせき} 着席

ぜん いん
全 員

さんびか よる
讚美歌 きよしこの夜

きよしこの夜 星は光り

すく まふね ねむ やす
救いのみ子は 馬舟の中に 眠りたもう 安らかに

ナレーター ベツレヘムの夜は、こうして静かにふけてゆきました。
この小さな馬小屋には、光と喜びがあふれていました。

ぜん いん
全 員

さんびか よる
讚美歌 きよしこの夜

みつげうけし ひつじか
羊飼いらは

こ
み子のみまえに ぬかづきぬ かしこみて

ひつじか
(羊飼いたちと羊たちが登場)

ひつじか
羊飼いい1 み使いの知らせの通りだ！

羊飼いい2 私たちの救い主だ！

ひつじか なら
(羊飼いたち ヨセフの横に並び立つ)

ナレーター そこに、3人の博士たちが、やって来ました。

はかせ おお よろこ
博士たちは、大きな喜びにあふれました。

なか はい こ れいはい
そして、中に入って、おさな子を礼拝し、

おうごん さま ひざ ささ
「黄金」、(博士1 イエス様の前に膝まづき献げる)

にゅうこう ひざ ささ
「乳香」、(博士2 イエス様の前に膝まづき献げる)

もつやく ひざ ささ
「没薬」を (博士3 イエス様の前に膝まづき献げる)

ささ
献げました。

はかせぜんいん
博士全員で

かみ ひと こ すくいぬし
神さま、あなたの独り子、私たちの救い主、キリストを

むか でき
迎えることが出来ました。ありがとうございます。

ひつじか
羊飼いい3

さあ、この喜びを、みんなに知らせよう！

(^{ぜんいん}全員で ^{かいば} 飼葉おけのイエス・ヨセフ・マリアを囲む)

^{ぜん}全 ^{いん}員 ^{さんびか}讃美歌260 いざ歌え いざ祝え

1. いざうたえ いざいわえ このめぐみのとき
すくいぬし あらわれぬ
よろこべ、しゅにあるたまよ

2. いざうたえ いざいわえ このめぐみのとき
てんしたちと こえあわせ
よろこべ、しゅにあるたまよ

^{ほく}牧 ^し師

キリストは、^{かみ}神の^{かたち}形でありながら
^{かみ}神と^{ひと}等しくあることに^{こしつ}固執しようとは^{おも}思わず
かえって^{じぶん}自分を^む無にして ^{しもべ}僕の^{かたち}形をとり
^{にんげん}人間と同じ^{おなじもの}者になりました。
^{にんげん}人間の^{すがた}姿で^{あらわ}現れ ^しへりくだって、^{いた}死に至るまで
それも^{じゅうじか}十字架の^し死に至るまで ^{じゅうじゆん}従順でした。
このため、^{かみ}神は^{たかくあ}キリストを高く^あ上げ、
あらゆる^な名に^なまさる^{あた}名を、お与えになりました。
それは、イエスの^{みな}御名によって ^{てんじょう}天上のもの、^{ちじょう}地上のもの、
^{ちか}地下のものすべてが ^{ひざ}膝をかがめ、
^{した}すべての舌が 「イエス・キリストは^{しゅ}主である」と^{こくはく}告白して、
^{ちち}父なる^{かみ}神が^{あが}崇められるためです。

フィリピの^{しんと}信徒への^{てがみ}手紙^{しやう}2章^{せつ}6~11節

261

教会暦 降誕・クリスマス
もろびとこそりて

[1112]

Hark the glad sound the Savior comes
詞 : Philip Doddridge, 1702-1751

ANTIOCH
曲 : Georg F. Händel, 1685-1759

もろびとこそりて いざ、むかえよ。
ひさしく待ちにし 主はきませり、
主はきませり、
主はきませり、
主はきませり、

(♩=96)

1 もろびとこそりて いざ、むかえよ。
久しく待ちにし 主はきませり、
主はきませり、主は、主はきませり。

2 悪魔の力を うちくだきて、
捕虜を放つと 主はきませり、
主はきませり、主は、主はきませり。

3 この世の闇路を 照らしたもう、
光の君なる 主はきませり、
主はきませり、主は、主はきませり。

4 平和の君なる み子をむかえ、
われらの救いと ほめたたえよ、
ほめたたえよ、ほめ、ほめたたえよ。

ア-メン。

ルカ4:18-19 イザ61:1-2 詩2:7-9

きよしこの夜

Stille Nacht, heilige Nacht!
詞：Josef Mohr, 1782-1848

STILLE NACHT
曲：Franz Gruber, 1787-1863

き - よ し こ の よ る ほ し は ひ か り、

す く い - の み - 子 は ま ぶ ね - の な - か に

ね む り - た も う - や - す ら - か に -。

(♩=96)

- 1 きよしこの夜 星はひかり、
すくいのみ子は まぶねのなかに
ねむりたもう、やすらかに。
- 2 きよしこの夜 み告げうけし
ひつじかいらは み子の御前に
ぬかずきぬ、かしこみて。
- 3 きよしこの夜 み子の笑みに、
あたらしき代の あしたのひかり
かがやけり、ほがらかに。

ア - メ ン。

ルカ2：15-16

いざ歌え、いざ祝え

O du fröhliche
 詞：Johannes D. Falk, 1768-1826, Heinrich Holzschuer, 1798-1847

SICILIAN MARINERS
 曲：シチリア民謡、18世紀

いざうたえ、いざいわえ、
 このめぐみのとき、
 すくいぬしあらわれぬ、
 よろこべ、主にあるたみよ。
 ア-メン。
 (♩=72)

1
 いざ^{うた}歌え、いざ^{いわ}祝え、
 このめぐみの^{とき}時、
 すくい^{ぬし}救い主 あらわれぬ、
 よろこ^ぶ喜べ、主^にある^{たみ}民よ。

2
 いざ^{うた}歌え、いざ^{いわ}祝え、
 このめぐみの^{とき}時、
 あ^し悪しき世は ^くだかれぬ、
 よろこ^ぶ喜べ、主^にある^{たみ}民よ。

3
 いざ^{うた}歌え、いざ^{いわ}祝え、
 このめぐみの^{とき}時、
 てんし^と天使たちと ^{こえあ}声合わせ、
 よろこ^ぶ喜べ、主^にある^{たみ}民よ。

ルカ2:10-11 マタ2:10

☆多 クリスマスページェント出演者等役割

預言者・招詞

ナレーター

マリアとヨセフ

天 使 1 (ガブリエル)

天 使 2

天 使 3

天 使 4

羊飼 い 1

羊飼 い 2

羊飼 い 3

羊 たち

博 士 1

博 士 2

博 士 3

オルガン奏楽 齋藤 仁
